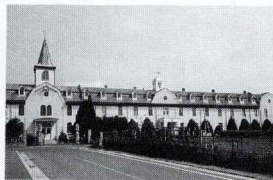


北辰

TOKYO

岐阜県立多治見北高等学校同窓会

東京支部会報 創刊第5号



平成4年11月1日

発行人 鈴木 満

多治見北高等学校 東京同窓会の発展を願って

多治見北高・学校長 齋藤 誠



東京同窓会も発足3年目を迎え、その基盤もいよいよ強固なものとなって、ご発展の様子大変うれしく思いますと共に、まことに心強く感じるものであります。このたび、はからずも十年ぶりに多治見北高等学校にお世話になることになりました。東京同窓会の皆さんには前任の杉山仁校長同様、何かと宜しくお願い申し上げます。

十年ぶりに見る北高は変遷を反映し、多少変わってきておりますが、「自主・自律・自学」の校訓は健在であり、生徒もそれを目標に頑張っております。又、学生服、校舎など殆ど変化はあり

ません。とは言え、校舎はそれなりの年月を感じさせ、記念植樹等の樹木も茂りを見せ、キャンパス全体が落ち着いた雰囲気になってきております。放課後の部活動は運動系、文化系共に盛んでありますが、音楽部や演劇部などが、その木陰で練習に励んでいる姿をよく見かけることができます。

多治見北高校も開校以来三十四年、学校の特色、伝統をふまえて、それなりの風格さえも備えてきたのではないかと考えております。

さて、現在の高校進学率はおおよそ95%に達し、又、国際社会における日本の責任も増大する中で、新指導要領がいよいよ平成6年度から施行されることになり、高校教育も大きく変わりつつあります。その中において、多治見北高校の「自主・自律・自学」を校訓として掲げてきた伝統は、益々、時代にもあった適切なものとして評価されるものと思っています。

この目標のもとで、視野の広い、心の豊かな、そして積極性のある皆さんの後継者が育ってほしいと願っています。

東京同窓会の皆さんの母校北高へのご支援を深く感謝しつつ、皆さんの益々のご活躍、ご発展をお祈り申し上げ筆を擱きます。



'92北辰祭で活躍する後輩たち

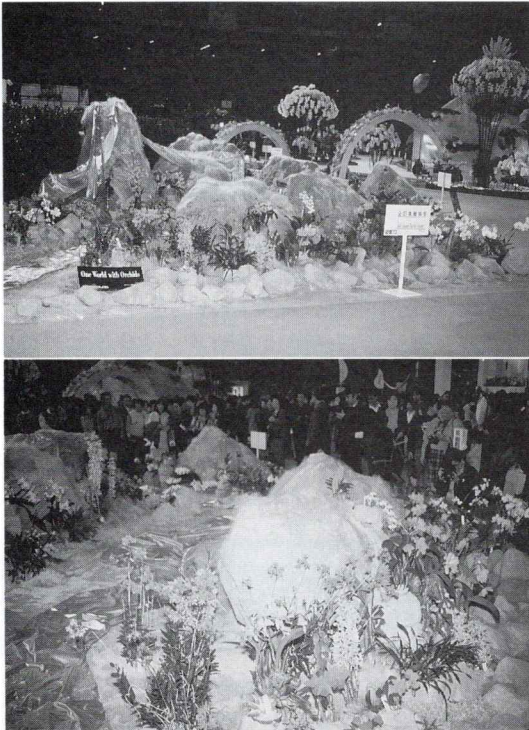
ラン♪ラン♪ラン♪

趣味とボランティア 上田能敬(7回生・高岳製作所)

今年の東京の夏は、猛暑に加えて雨が少なく、木々にとってはまさに苛酷な年でした。大手町では8月11日から9月6日までの雨量が1.5mmと平常の1%でした。蘭の栽培に熱中している私にとっては、蘭のミイラを作るのではないかと、出張に出ても気になる毎日でした。

この春、東京ドームにてらん展が開かれたのですが、見ていただいた1回生の鈴木さん初め御来場の同窓生の皆様からも好評でしたのでその紹介

世界らん展日本大賞'92で優良賞を受賞した全日本蘭協会のブース

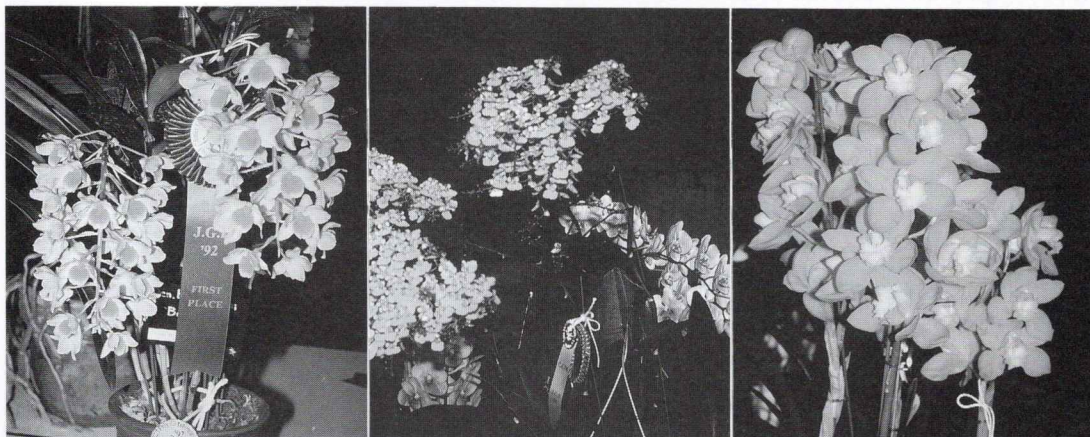


を致します。このらん展は読売新聞、NHK、世界らん展日本大賞組織委員会が主催して各種蘭愛好会、農協が協力して開催したものです。日本の蘭と外国からの洋蘭それに蘭の写真、工芸品等蘭に関する全てが展示され、1週間に40万人の入場者を集めた盛大ならん展でした。日本においてこのような日本の蘭と洋蘭を含め各界が協力したスケールの大きならん展が開催されるようになったのは、5年前の1989年、小田急向ヶ丘遊園にて開

催された第12回世界蘭会議がキッカケとなったものです。世界蘭会議とは、3年に1度、世界中の蘭の関係者が一堂に集まる蘭の祭典で、日本の関係者にとっては待望久しい開催ですが、その準備も大変なものでした。開催6年前に立候補し、3年前の審議会に具体的内容を提案し、他の候補国と比較審査されます。オリンピックと同じです。開催実行の為には資金、組織など多くの問題を解決しなければならないのですが、多くは日本中の蘭の関係者の無償奉仕によって支えられました。私も蘭の愛好会の一つの全日本蘭協会にて審査、記録委員を務めていたので、審査グループの一委員として参加協力しましたが、この無償奉仕の人々の熱意、厚意には大いに感激した次第です。

ところで一昨年、この同窓会において、12回世界蘭会議の出展に当たった奉仕者が北高出身者と知って驚きました。日本古来の蘭の1種の鷺草(サギソウ *Habenaria radiata*)を普通より3ヶ月早く3月に開花させ、日本をアピールしたグループのリーダーの水野さんです。水野さんは北高9回生で、学研の植物工学研究所でバイオの研究活動を進める植物学者である一方、蘭の学术交流を進める蘭懇話会事務局で世話役としても奉仕しておられ、バイオの学会でも世話人として信頼を集めています。水野さんの話では、多治見中学の上の三ツ池に自生していた鷺草は薫りのある変種で日本に数カ所しかない貴重な蘭とのことでした。今日では三ツ池は埋め立てられた為、水野さんが保存増殖している株が残っただけとなってしまいました。土岐市や恵那市にはまだ似た変種が有るという話も聞きますが、時代と共に住宅造成等の開発が進み、自然環境が変わるかも知れません。絶滅した変種とならないよう、水野さんのような心ある人に保存してもらいたいものです。

辞書によれば Volunteer とは無償有志者とか。北高同窓会も多くの人の Volunteer に支えられ運営されていると思います。この会報を初め名簿、総会など無償の仕事が数多くあるものと思います



が、これからも絶えることなく続けてほしいものです。世話役の方々には感謝申し上げます。

尚、先に書いた東京ドームでの世界らん展日本

大賞は来年も2月28日から3月7日まで開かれま
す。前売券など問い合わせがありましたら御一報
下さい。

大阪夏の陣

東京支部会長
鈴木 満

聞いてはいましたが、これほど大阪の夏が暑いとは思いませんでした。本当にびっくりしました。九月に入ったのに、連日、最高気温が三十五度を超え、最低気温ですら二十七度を超えるのですから。こんなことでしたら、赴任した七月に官舎にエアコンを取り付けるべきでした。エアコンを付かなかったのは、赴任した七月は中旬まで比較的涼しい日が続いていましたし、この官舎の先住者（前任者を含めて五名）もエアコン無しで頑張った「実績」がありますので自分も我慢できるだろうと考えたためですが、今から思えば甘い考えでした。

前置きが長くなってしまいましたが、私、この七月一日の異動で大阪(公正取引委員会事務局近畿事務所)勤務となりました。東京支部の会長をお引受けしてから二年、支部の運営が軌道に乗るかどうかの重要な時期に差し掛かっていると思っていましたので、こうした時点での異動は本人が

一番面食らったというのが正直なところですが、しかし、辞令が出てはどのようなありません。皆さん方にご迷惑を掛けないように、今後も役員会などには出席させていただくつもりですので、よろしく。

というわけで、今度は大阪支部（正式には「西日本支部」というのだそうです。）の会員にもなりました。さっそく八月三十日に開かれる同支部の役員会の案内が送られてきたので出席しました。役員会では二十名ほどが集まり十一月三日に京都で開催される総会についての論議が活発に行われました。大阪支部は、会員の数では東京支部の約三分の一の三百人程度であります。東京支部には負けまいぞという意気込みが感じられました。両支部がよい意味で刺激しあいながら活性化していくことが北高同窓会の発展になるのだということを考えながら、猛暑のわが官舎に帰りました。

西日本支部もよろしく!!

多治見北高西日本支部
代表幹事 古川晃平

我々の北高同窓会西日本支部は、東京支部の結成に刺激され、また大角先生のお声がかりを得て2回生の有志諸君が努力されたおかげで結成され、昨年11月に創立総会を開催し、ようやく活

動を開始しました。

現在、同窓生として西日本支部の名簿に記載されているメンバーが約200名、創立総会に参加したメンバーが60名強と東京に比べ約1/3とこじん

まりしており大きな活動はできていませんが、各年次の幹事約20名が中心となり、年1回の総会を活動の中心としています。今後は会員の懇親を深めるため情報交流の場を提供していくことに重点を置いて活動をしたいと考えています。

また、現在活動の中心は4回生ぐらいまでですが、若手に積極的に参加してもらおうべく工夫が必要と感じています。その意味もあり今年北高を卒業し西日本地区に来た新入会員の歓迎会を兼ね11月3日に京都のアークホテル(四条大宮駅前)で今年の総会を開く予定です。当日関西地区に出張されて

いる方はぜひ顔を出してみてください。

当支部の設立に中心となって努力してくれた前原氏が東京に転勤になり、また東京支部の会長の鈴木氏が大阪勤務になるなど、東京大阪間の行き来も今後盛んに行われると思いますが、東京支部の皆さんで、関西に転勤になられた方、また関西在住同窓生でまだ西日本支部の活動に参加されていない友達をお知りの方は、ぜひ下記まで連絡をおとりください。

(多治見北高同窓会西日本支部事務局 山池 清 〒560 豊中市中桜塚5丁目11-18 tel 06-856-0265)

いま私が夢中になっていること

井上真澄(3回生・旧姓近藤)

それは「泳ぐこと」である。私の一週間は水泳教室のある水曜日を中心にまわっています。

ちょうど十年前、ヨガを始めた頃、ヨガ教室のある金曜日を中心にしていたように……。

小・中学校、そして北高にもプールのなかったときに在籍していた私は、この年まで水泳とは全く縁のない生活をしていました。

以前、腰痛で一年半、膝痛でも通院していたことがありました。その時、お医者さんから水泳がとってもいいよと言われましたが、ヨガで何とかしてみようと思ったものの、水泳を習おうとは考えてもみませんでした。

また、今年で八年目になりますが、夏の期間、市民プールで券売りの仕事をしていて、プールに毎日のように通っていたのに自分が泳ごうとは

思ってもみませんでした。

それが、昨年頃から泳ぎを習おうかと思い始め、今年になって、市の水泳教室で講習を受け、四月からクラブに入会し、週一回プール通いをしているのです。

水の中に口までも入れることが出来なかったのに、けのび、面かぶりクロールと順をおって出来るようになり、七月の終わりにクロールで何とか二十五mまでいくようになりました。壁にタッチした時のあの感激は忘れられません。会う人毎に話してしまいました。

まだ、力が抜け切らなくてダメですが、そのうちに、優雅で格好よく、クロールでスイスイと泳いでいる自分を夢見て、いま、楽しんで「泳ぐこと」に夢中になっています。

お知らせとお願い

《その①》東京支部事務局が変更になりました。

▶新事務局 東京都目黒区中根1-3-1 住友銀行都立大学前ビル6F(株)ゼロップ内(代表/三回生 国光正憲)TEL(3725)7061(担当・高見)

《その②》今年も11月23日、東京四谷・主婦会館にて第3回・東京支部総会が行われますが、前回も好評だったフォーラムを予定しています。仮題は『女性と社会』。活躍中の同窓生2~3名による楽しいトーク・ショーとなるはずです。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

《その③》現在、新しい会員名簿を作成中ですが、これに掲載する協賛広告を募集中です。1000名の同窓生にインフォメーションしてみませんか。問い合わせは事務局まで。

《その④》北高時代の思い出やエピソード、現在の仕事、趣味、近況、同窓生への連絡事項など、何でもOKです。『北辰TOKYO』への投稿をお願いします。宛先は左記・事務局まで。

《その⑤》会員の皆さんの住所、勤務先、電話番号など、名簿に記載されている内容が間違っていたり変更になった場合、あるいは東京周辺にお住まいの同窓生で名簿に記載されていない方にお気づきになりました時は、事務局にハガキまたは電話でお知らせ下さい。